

降誕節第二主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏 (黙祷)
「偉大なみ神の」
(讃美歌 21 の 367 番) 北澤憩作曲
あいさつ
讃 美 讳美歌 21/368 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 70 篇

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
+エレミヤ 31 章 10~17 節
+マタイ福音書 2 章 13~15、19~23 節
(旧約 P.1454、新約 P.2)
応 答 唱 讳美歌 21/38 番
教 話 井上隆晶牧師
『二人の王』

使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讳美歌 21/72 番
教会の祈り (連祷)
平和の挨拶
讃 福 荣 誉美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讳美歌 21/278 番
感謝の献物
榮光の讃美 誓美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏 (黙祷)
「今日こそ主の日なり」
(讃美歌 21 の 203 番) C.S.ラング作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男
奏 楽 飯田雅子
献金当番 澤田真弓
受付当番 山千代誠子

【本日の予定】

- ◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
 - ・お話し: 井上隆晶牧師
- ◇讃美歌練習 (礼拝後)
- ◇合同祈祷会 (礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

- ◇朝の祈祷会
 - ・1月 6 日 (火) 午前 9 時
 - ・1月 9 日 (金) お休みします。
- ◇英会話グループ
 - ・1月 8 日 (木) 午後 7 時 30 分

【次週主日 1 月 11 日のご案内】

- ◇教会学校礼拝 (午前 9 時 30 分)
 - ・お話し: 井上万里子
- ◇主日朝礼拝 (午前 10 時 30 分)
 - ・聖 書
 - ・詩編 92 篇 9~16 節
 - ・ルカ 2 章 22~35 節
 - ・教 話 井上隆晶牧師
『命と出会い』
 - ・讃美歌 21 280、38、120
 - ・交説詩篇 詩編 126 篇
 - ・司式補佐 勝見 仁
 - ・奏 楽 鹿野幸枝
 - ・献金当番 相澤美子
 - ・受付当番 小渕公子
- ◇讃美歌練習 (礼拝後)
- ◇合同祈祷会 (礼拝後)
- ◇定例役員会 (午後 1 時)

聖 句

「起きて、子供とその母親を連れ、イスラエルの地に行きなさい。
この子の命をねらっていた者どもは、死んでしまった。」

(マタイ
2 ..
20)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 7 日 (水) 午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」、9 日 (金) 午前 9 時 30 分「大阪 YWCA 大宮保育園お誕生日会」
10 日 (土) 午後 1 時「こひつじホーム職員礼拝」
②《1 月の教会行事予定》

- 1 月 7 日 (水) 午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」(梅田本館)、参加費 500 円
- 1 月 11 日 (日) 午後 1 時「定例役員会」
- 1 月 16 日 (金) 午前 9 時「大聖水式」
- 1 月 18 日 (日) 午前 10 時 30 分「キリスト洗礼祭」、「教会学校教師会」(礼拝後)
- 1 月 20 日 (火) 午前 10 時「心の病の勉強会」
- 1 月 25 日 (日) 午後 1 時「教会懇談会」
- ③クリスマス感謝献金を奉げましょう。予算は 25 万円です。皆様のご協力をお願いします。

④【先週の集会統計】

日	集 会	男 子	女 子	大 人	計	礼 拝 献 金
28	CS礼拝	—	1	5	6	¥1,350
	集 会	男	女	子ども	計	礼 拝 献 金
28	朝の礼拝	5	13	4	22	¥21,530
30	朝の祈り	1	1	—	2	
2	朝の祈り	—	—	—	—	

⑤【12/28 の献金報告】

[月定] 井上隆晶、屋宮英男 (計 30,000 円) [クリスマス感謝] 小渕公子、小渕賀裕、木許信子、三浦保三・康子、田浦秀司 (計 75,000 円) [各種感謝] 井上隆晶、屋宮英男、山千代誠子、中村恵子 (計 9,270 円) [建築] 井上隆晶、小渕公子 (計 10,000 円) [互助] 井上隆晶、屋宮英男 (計 2,000 円) [クリスマスイヴ礼拝席上] (計 14,215 円)

【先週の説教要旨の続き】

の上に止まりました。彼らはその星を見て喜びにあふれました。彼らはイエス様を拝み、宝の箱を開けて黄金、乳香、没薬を献げました。黄金は王に獻げるものであり、乳香は神に獻げるものであり、没薬は死者に獻げるものです。つまりイエス様は王であり、神であり、死ぬために来た方であることを教えています。でもイエス様には、没薬は必要ありませんでした。その体は腐ることなく復活されたからです。この三つはイエス様が誰であるかを現すと共に、私たちが獻げなければならないものをも現しているようにも思えます。黄金は、人はお金ではなく神によって生きることの告白を、乳香は祈りを、没薬は私たちも死なない体になることの感謝を、献げたいのです。彼らは「ヘロデのところに帰るな」という夢のお告げに従い、ヘロデの命令を無視し、別な道を通って自分たちの国に帰って行きました。「別の道」という表現でもって、彼らの生き方が新しくなったことを教えています。

私たちが自分の力で生きているうちは輝くことができません。しかし自分が無くなり、神によつて生きるしかなくなる時、神の命が入ってきて人は輝くのです。占星術の学者たちはとても自由に感じます。彼らはヘロデを恐れません。黄金も乳香も没薬というこの世の宝も自由に手放します。そして自分たちを導く星やキリストに出会い、喜びに溢れています。偽りの地上の王に仕える者は、恐れと不安に支配されますが、天を目標として生きる人は何と輝いていることでしょう。私たちもこの喜びと自由の道を歩んでいきたいと思います。

